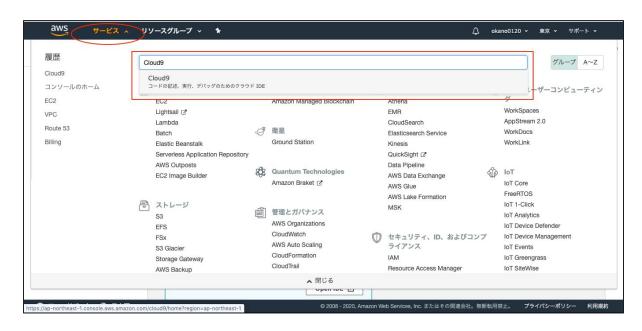
1回目: / 分 2回目: / 分 3回目: / 分 4回目: / 分 5回目: / 分

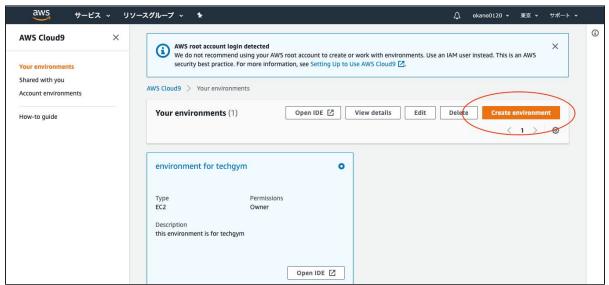
■ Cloud9の立ち上げ方

【手順】

・AWS(https://aws.amazon.com/jp/)にログインして、フッターの「サービス」をクリックし、検索フォームにCloud9と入力してます。すると、「Cloud9」の項目が出てくるので、クリックしてください。

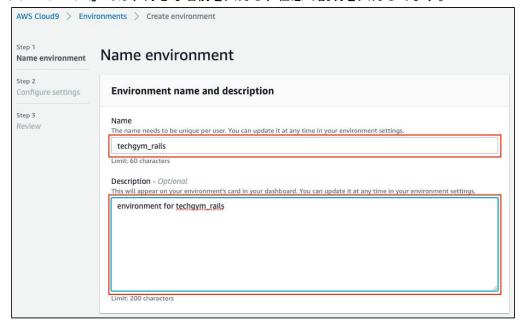


・Cloud9のダッシュボードに移動するので、「Create environment」をクリック



1回目: / 分 2回目: / 分 3回目: / 分 4回目: / 分 5回目: / 分

・Step 1「Name environment」では、好きな名前を入力し、任意で説明を入力してます。



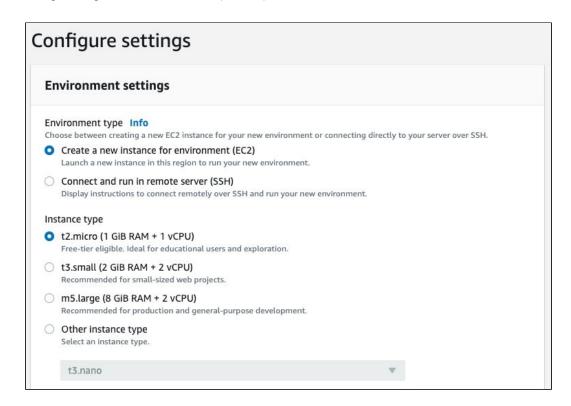
・Step 2 「Configure settings」では、下記の内容を選択し、「Next step」をクリックして下さい。

Environment type: Create a new instance for environment(EC2)

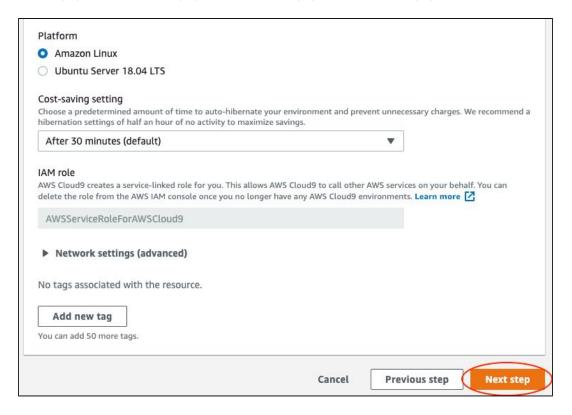
Instance type: t2.micro(1 GiB RAM + 1 vCPU)

Platform: Amazon Linux

Cost-saving setting: After 30 minutes (default)



1回目: / 分 2回目: / 分 3回目: / 分 4回目: / 分 5回目: / 分



・Step 3「Review」では、内容を確認し「Create environment」をクリックして下さい。

1回目: / 分 2回目: / 分 3回目: / 分 4回目: / 分 5回目: / 分

- Cloud9でブラウザを立ち上げる
- ・ページ上部の「Preview」をクリックし、「Preview Running Application」をクリック。



・Cloud9の画面上で、仮想的なブラウザが表示されますので、ブラウザ上部のBrowserの右隣にあるボタンをクリックしてください。すると、新規ブラウザが表示され、bundle exec rails serverで立ち上げたページを表示することができます。



■ Oops VFS connection does not exist と表示された場合

ブラウザが問題を起こしている可能性が高いので、ブラウザを変えていただく(講師はChromeを使用しています)か、シークレットモードで再度AWS・Cloud9にログインしていただけますと、エラーがなくなると思います。

1回目: / 分 2回目: / 分 3回目: / 分 4回目: / 分 5回目: / 分

■ gitについて

【前提知識】

- ・修正: gitではファイルを修正すると、自動で修正部分・新規追加ファイルを認識します。
- コミット: いくつかの修正をひとまとまりにしたものです。
- ブランチ: コミットを順番にまとめたものです。

【コマンド】

ブランチの一覧を表示する。

\$ git branch

特定のブランチ(lesson1)に切り替える

\$ git checkout lesson1

修正・新規ファイルの一覧を表示する。

\$ git status

特定のファイル(app/controllers/contacts_controller.rb)をコミットできる状態にする。

\$ git add app/controllers/contacts_controller.rb

カレントディレクトリ内の全てのファイルをコミットできる状態にする。

\$ git add .

コミットできる状態にした修正・新規ファイルを名前(フォーム送信機能 追加)をつけてコミットする \$ git commit -m "フォーム送信機能 追加"

コミットを順番に表示する。

\$ git log

特定のファイル(app/controllers/contacts_controller.rb)を修正する前の状態に戻す \$ git checkout app/controllers/contacts_controller.rb

1回目: / 分 2回目: / 分 3回目: / 分 4回目: / 分 5回目: / 分